

院内がん登録から見える —皮膚がん—

広島市立広島市民病院
医療支援センター 診療情報管理室

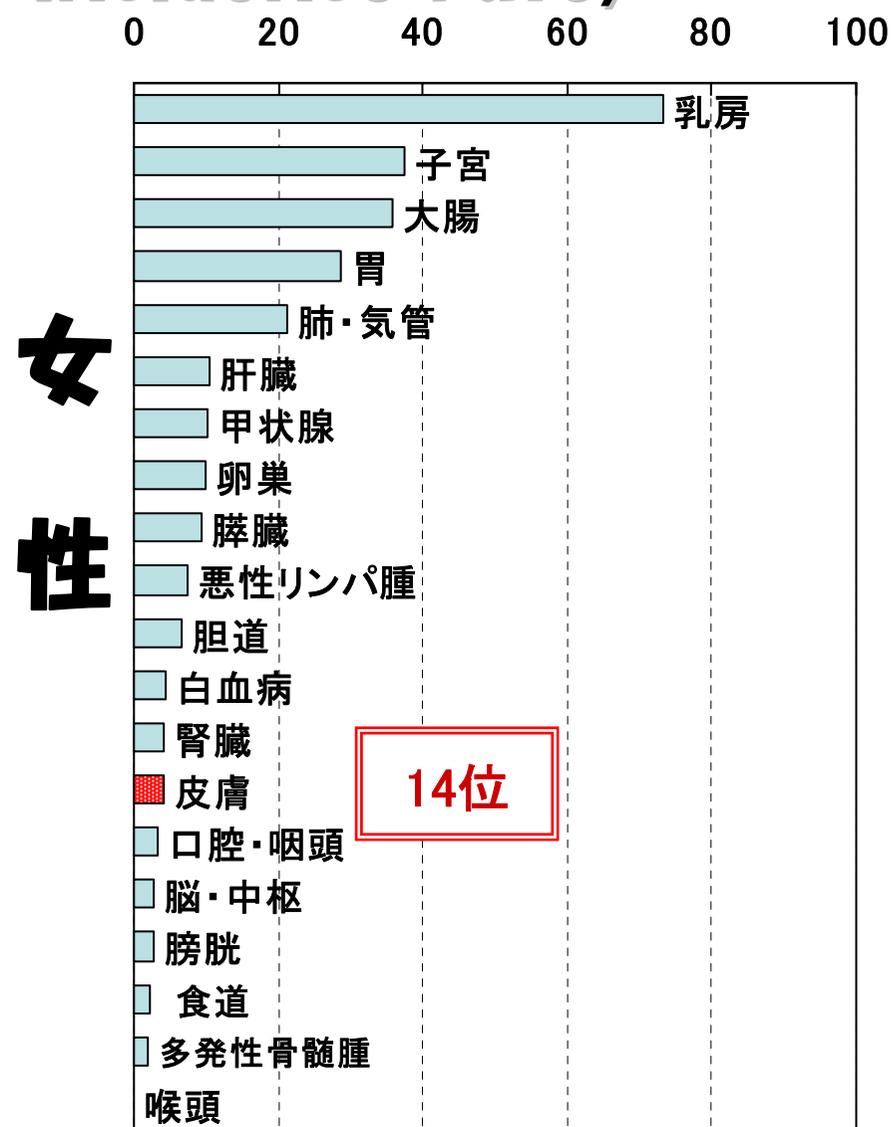
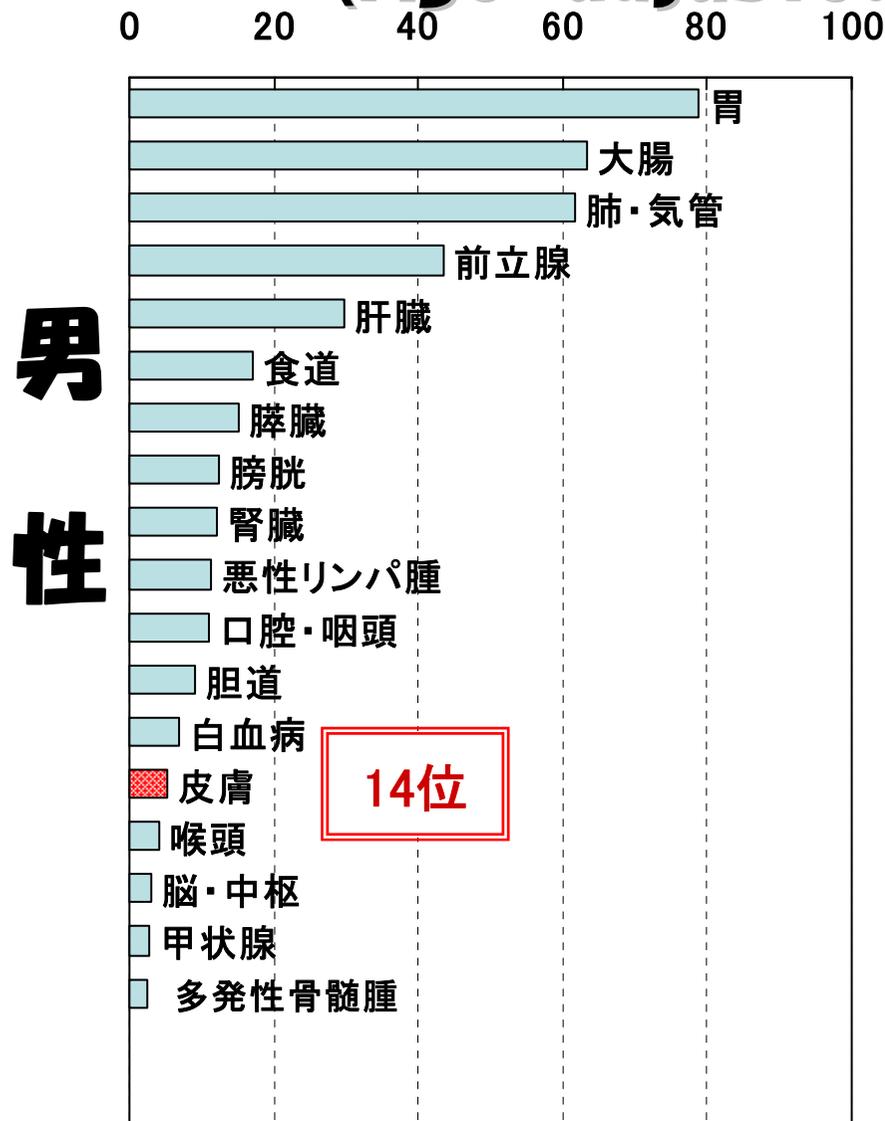
梅本 礼子

国立がんセンター院内がん登録中級者
国立がんセンター院内がん登録指導者
国立がんセンターがん登録実務者研修専門家パネル委員



症例区分	生存率を算定する上で対象となる症例範囲を決定する区分 症例区分2: 診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例 症例区分3: 他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行がなされた症例。 上記を集計対象とし、算出することとする。
治療前ステージ	UICCの定めるステージング方法に基づき、何らかの治療の行われる以前につけられた病期を指す。 我国の通常臨床現場で使用されるがん取扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。 癌腫が分類の対象となっていることから、組織診断名コードをもとに、肉腫やリンパ腫、カルチノイドを除いて集計している。
治療	登録対象となったがんに対する初回治療である。
初回治療	治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従って後に追加された治療は含まれないことに注意する必要がある。特に当初、経過観察が計画されて病状が悪化したために治療が行われた場合も初回治療はなしとなる。初回治療として計画されていても、他院で施行されたものは登録されず、登録施設で行われた治療のみが登録対象となる。症状緩和的な目的でおこなわれた手術や放射線治療も部分的に腫瘍に対する治療であるといえることから、登録対象の治療に含まれる。

部位別がん罹患率 2007年 (Age-adjusted incidence rate)

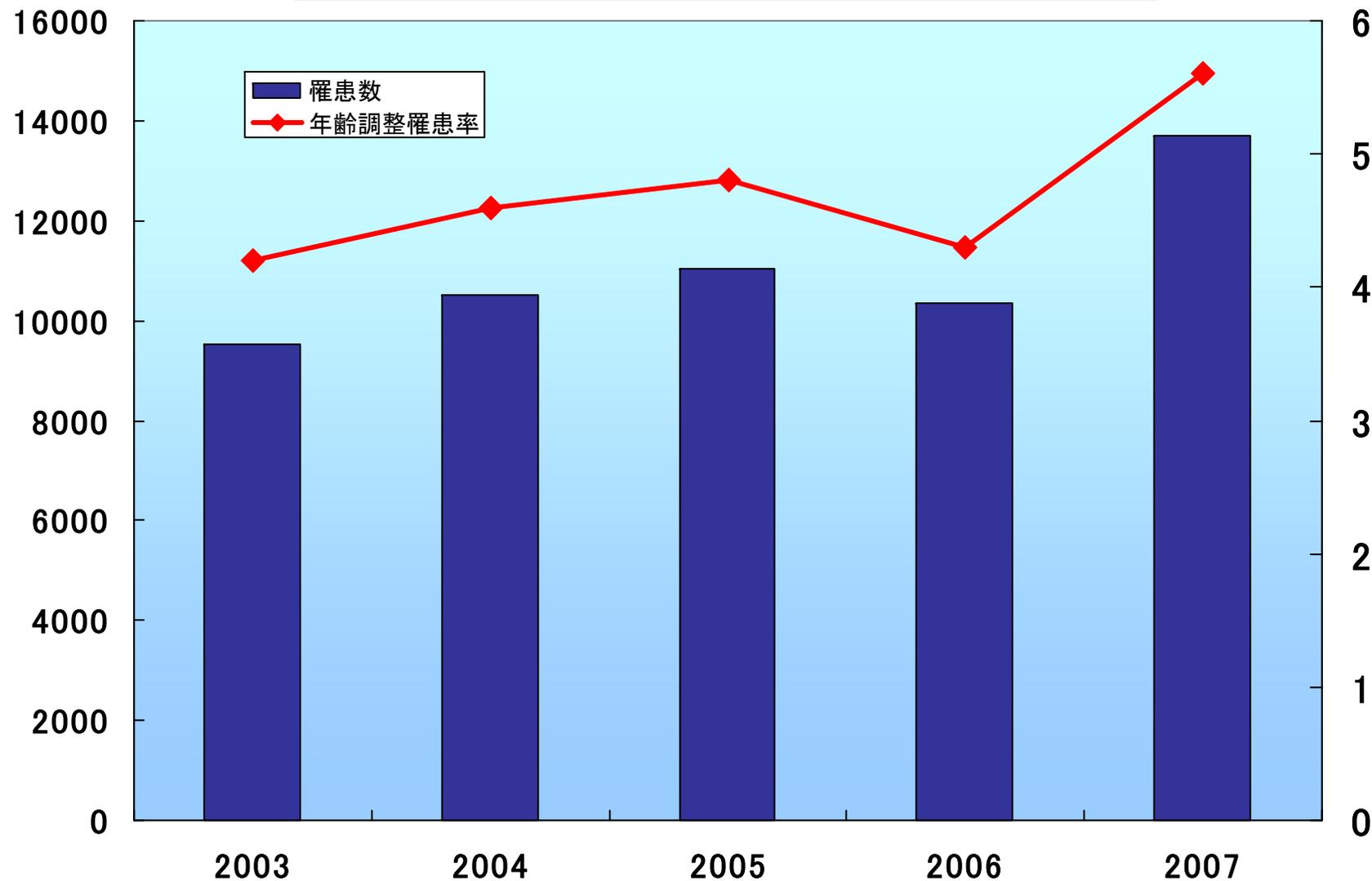


出典: がんの統計2012

全国罹患数および推定年齢調整罹患率
(対人口10万人)(昭和60年日本人モデル人口)

罹患数

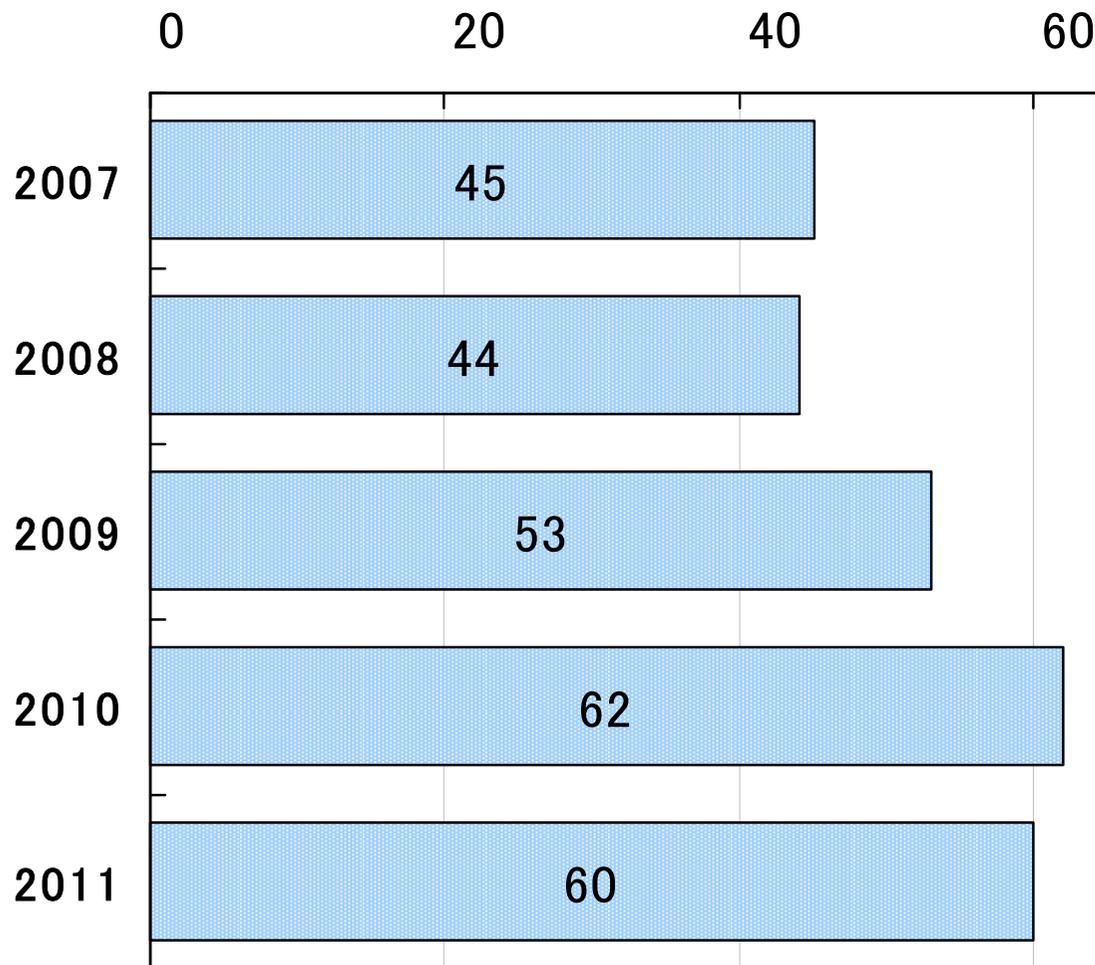
年齢調整罹患率



出典:国立がん研究センターがん対策情報センター
全国がん罹患数・率推定値 2003-2007年

院内がん登録 皮膚がん 登録年別登録数推移

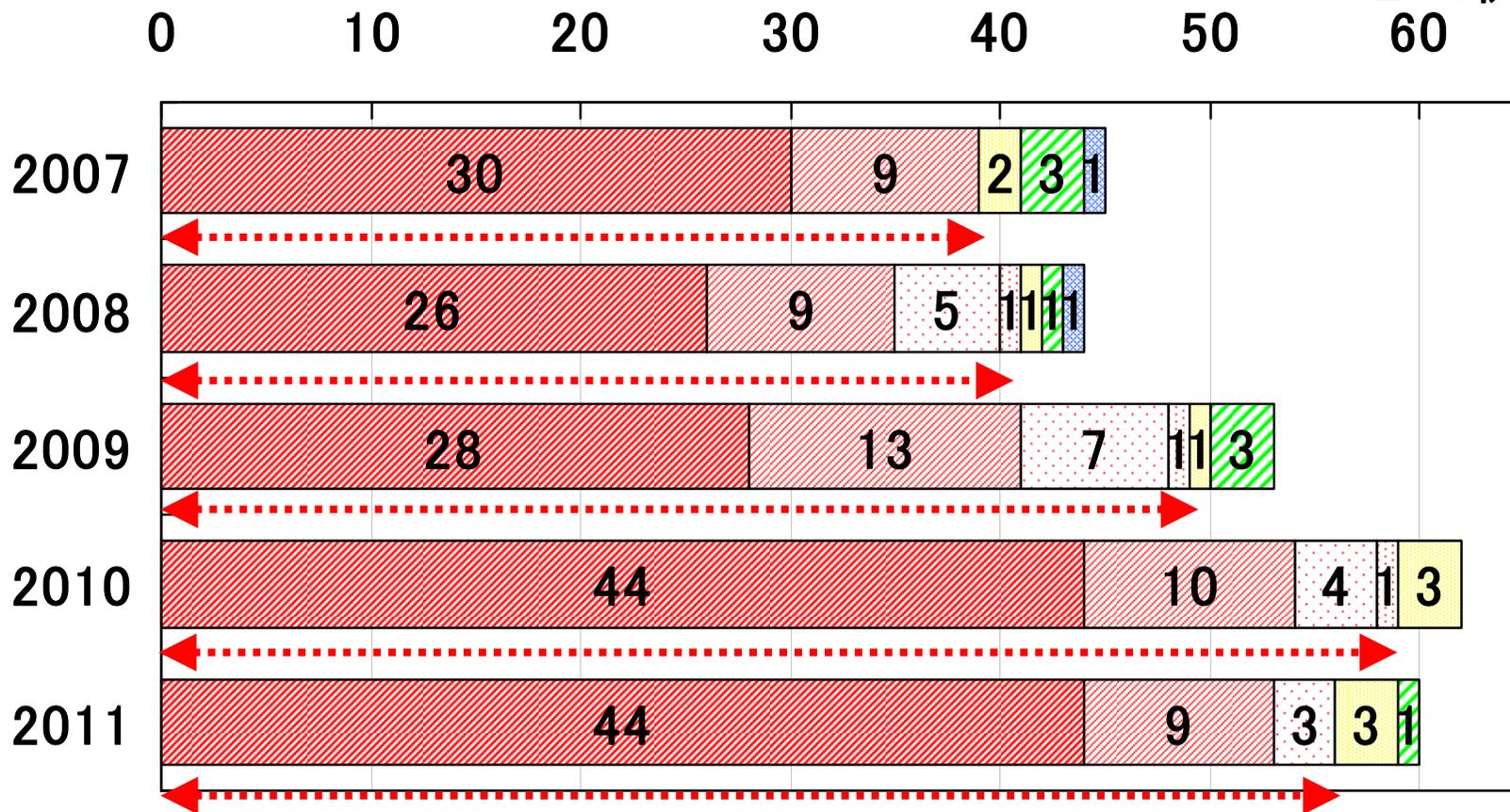
2007年～2011年
264例



院内がん登録 皮膚がん 症例区分別登録数推移

2007年～2011年

264例

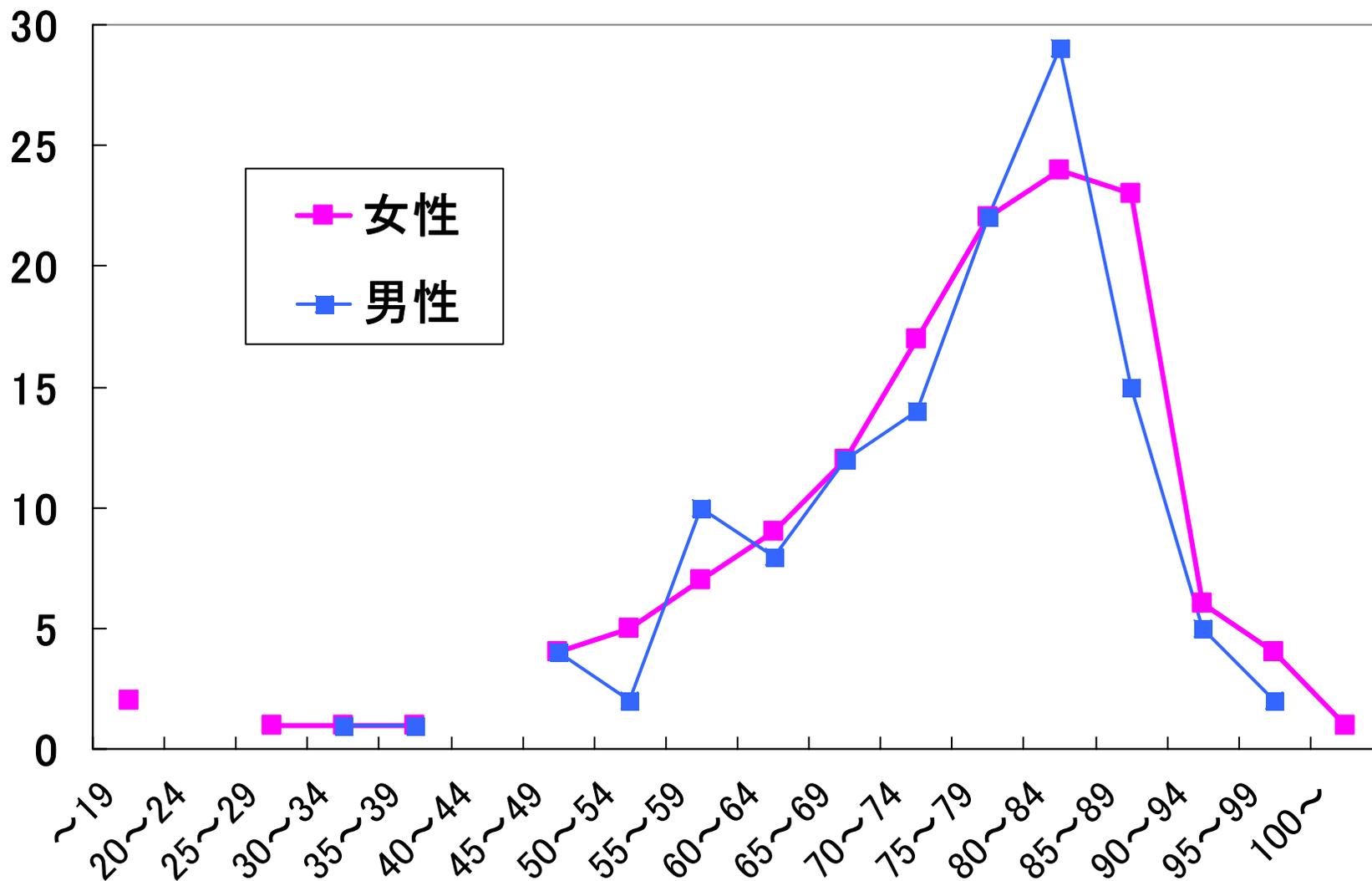


- 診断と初回治療施行
- 他施設診断、初回治療決定施行
- 初回治療開始後もしくは再発症例
- 自施設で経過観察
- 診断後、他院を紹介
- セカンドオピニオン
- 来院中断

院内がん登録 皮膚がん 性別年齢階級別罹患数

2007年～2011年

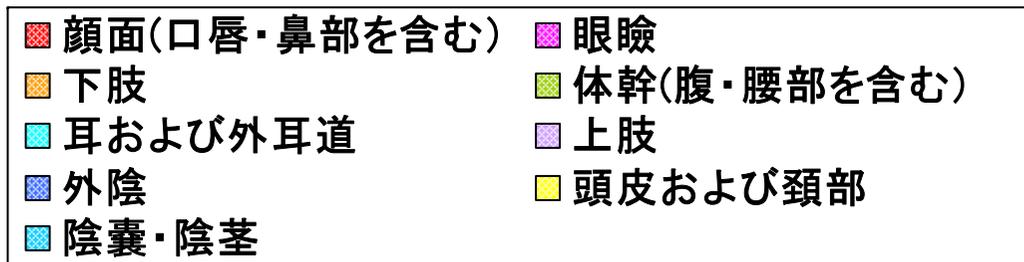
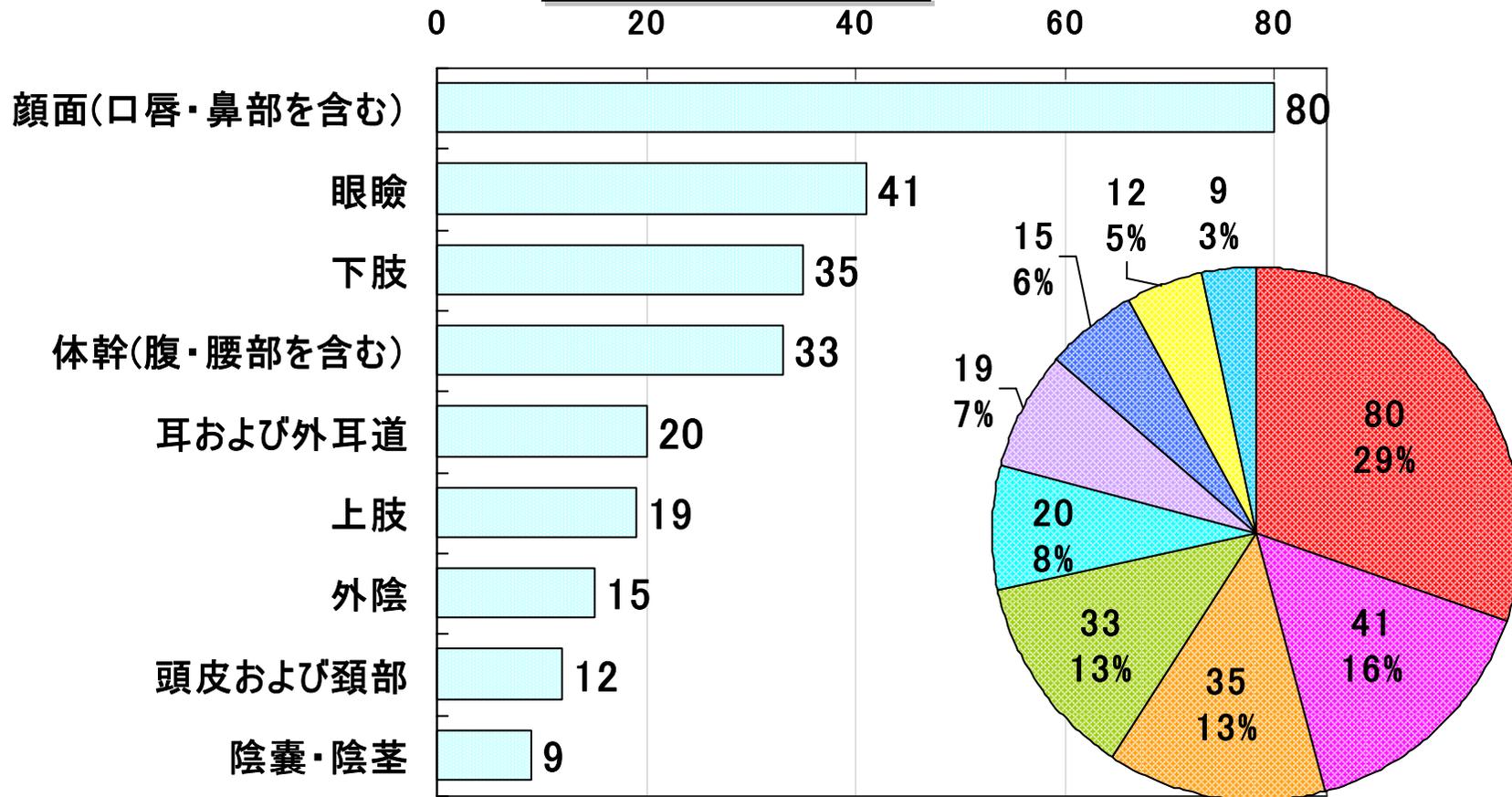
264例



院内がん登録 皮膚がん

原発部位

2007年～2011年
264例



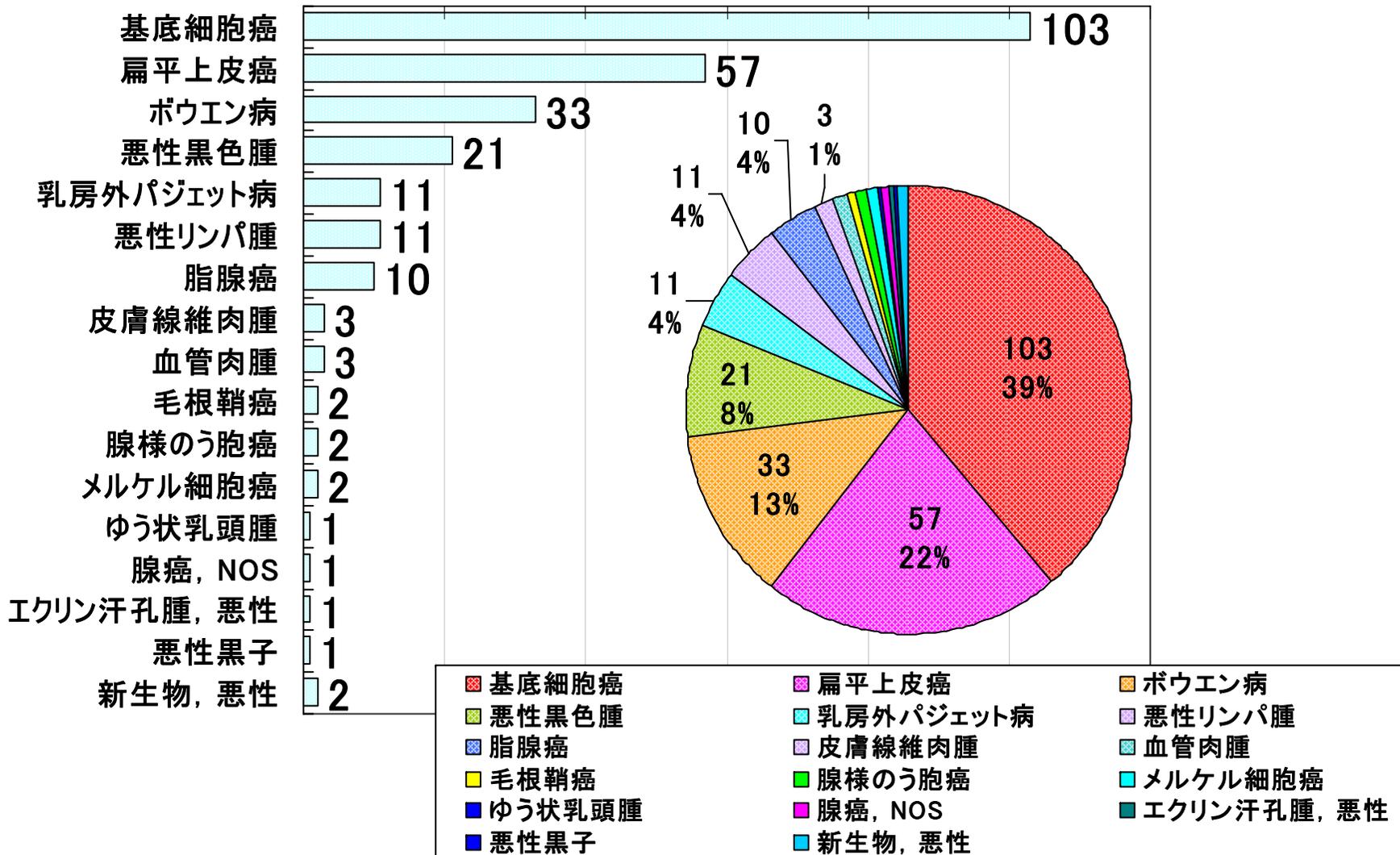
院内がん登録

2007年～2011年

皮膚がん（組織型の割合）

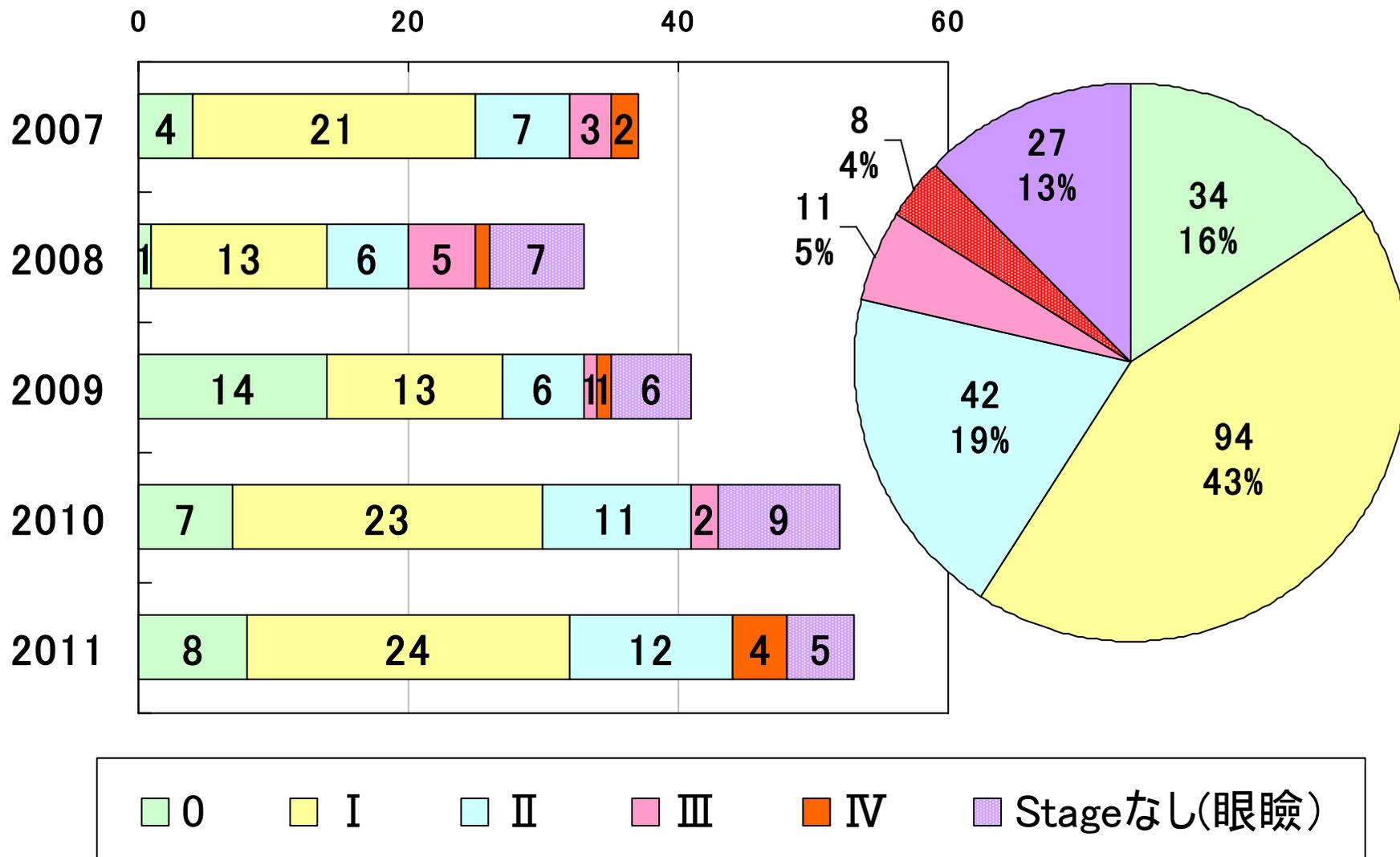
264例

0 20 40 60 80 100 120



院内がん登録2007-2011(皮膚癌)

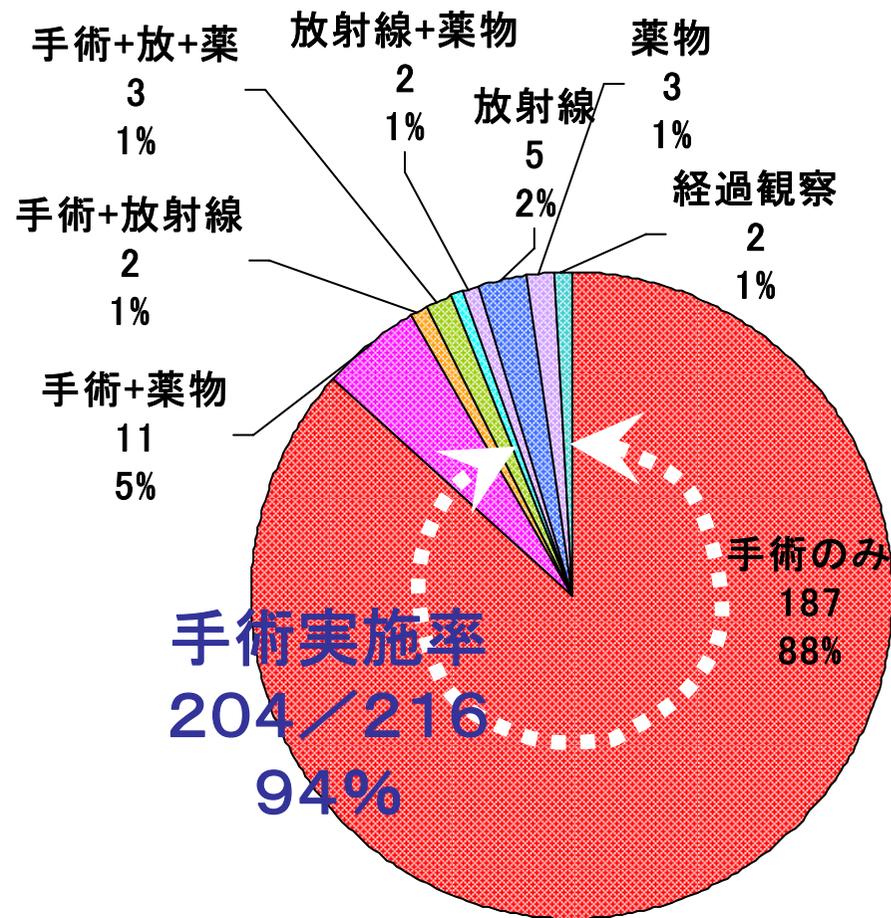
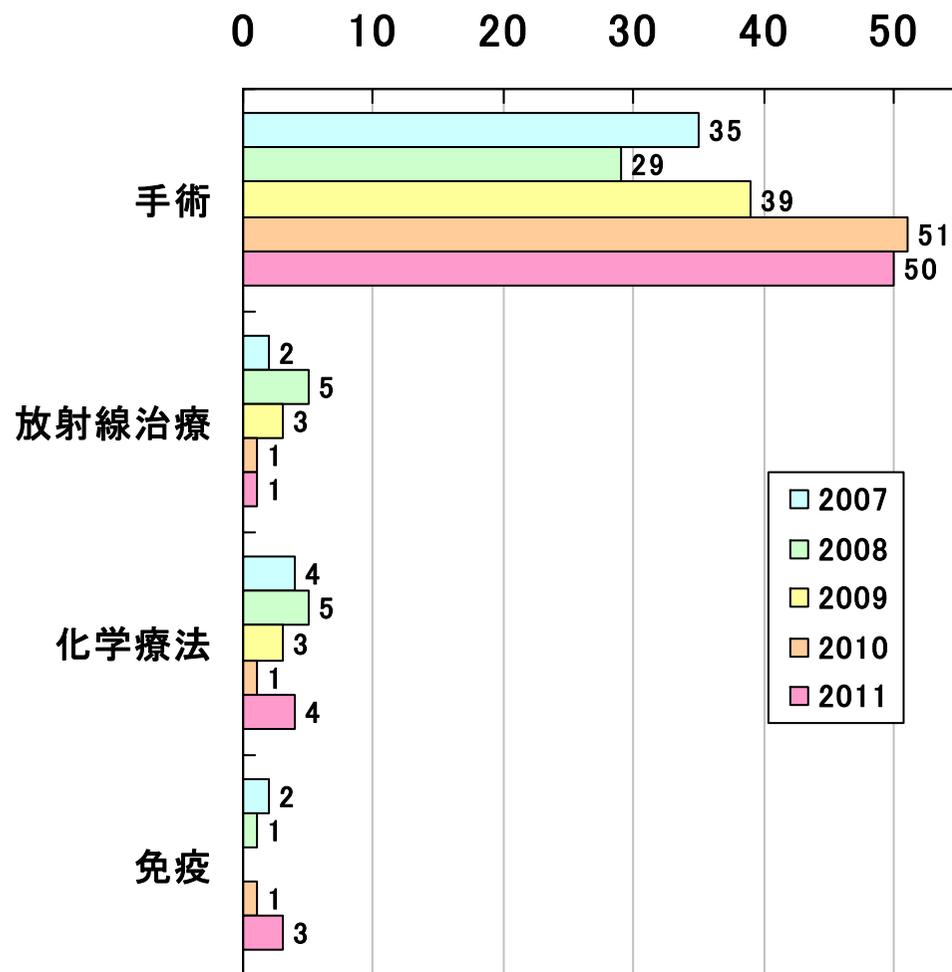
対象:初回治療施行症例(216例)(癌腫のみ)
 一年別最終ステージ(UICC6th)別症例数



院内がん登録2007-2011(皮膚癌)

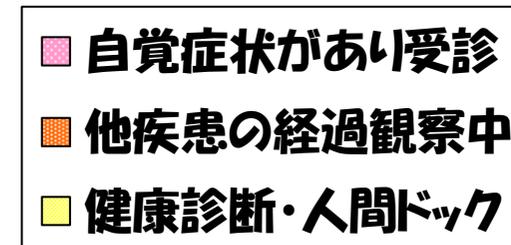
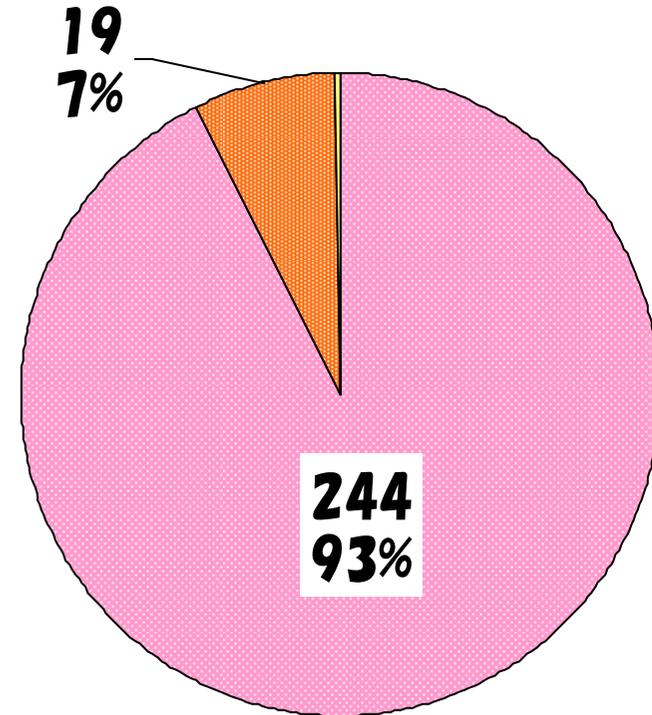
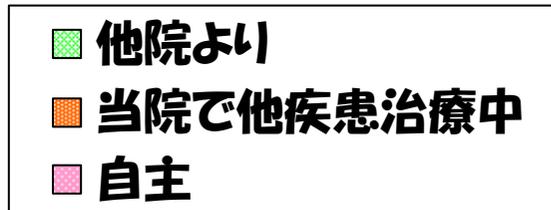
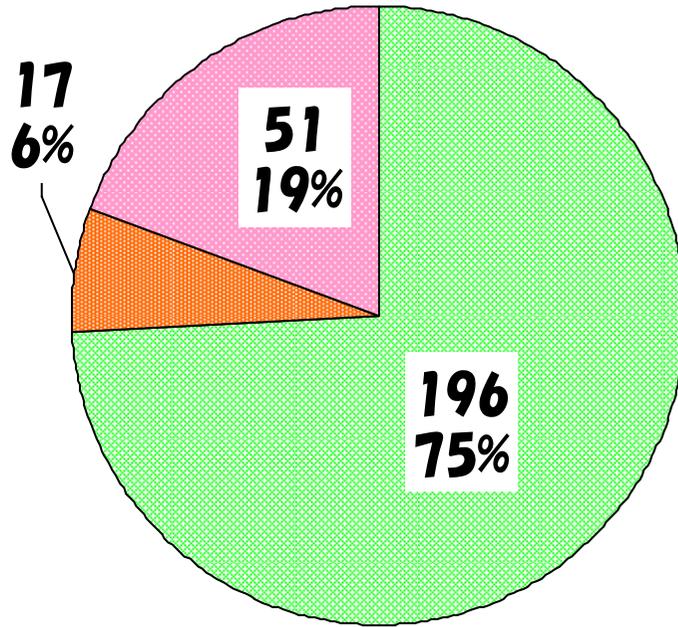
対象:初回治療施行症例(216例)(癌腫のみ)

一年別初回治療法別症例数

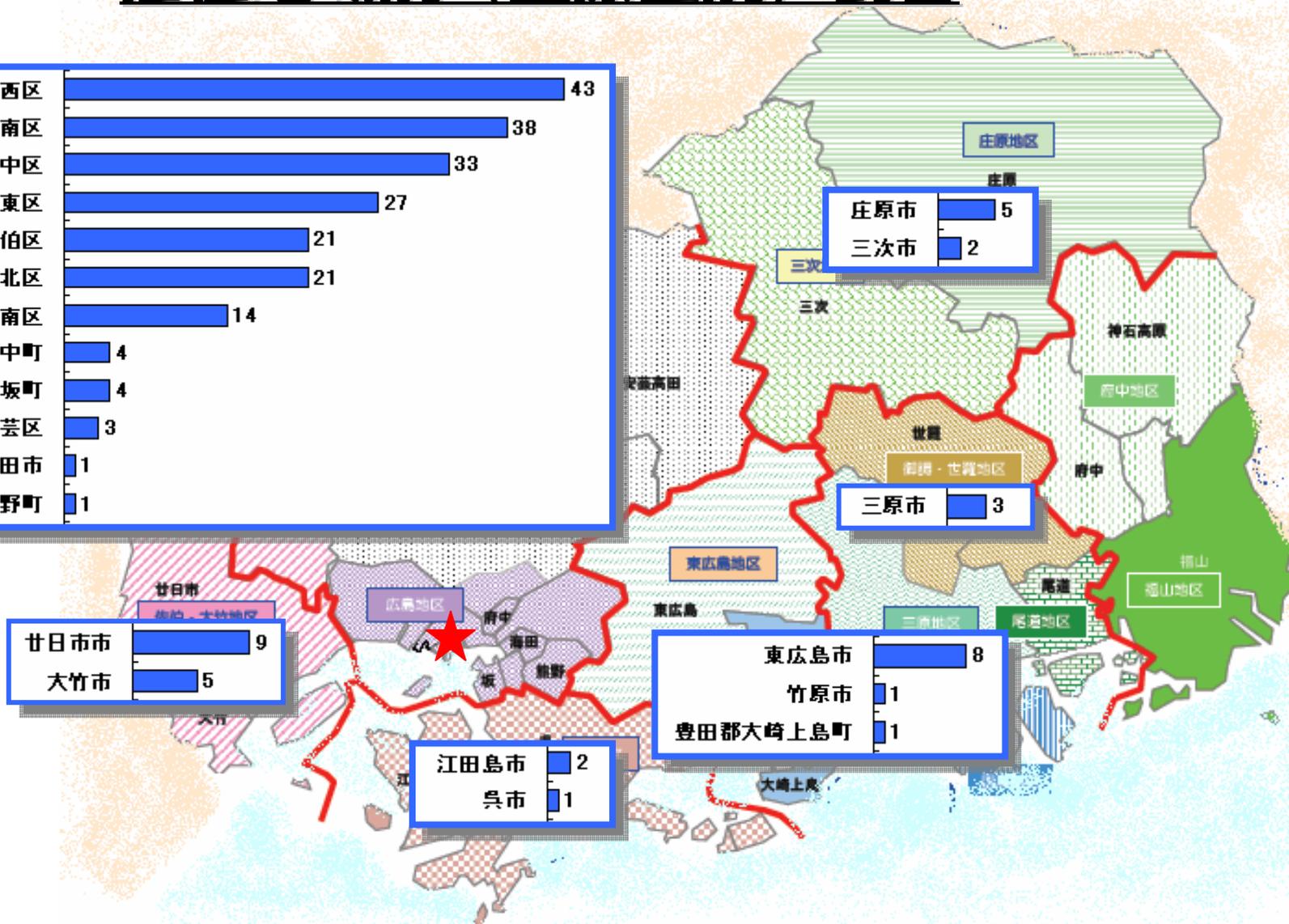
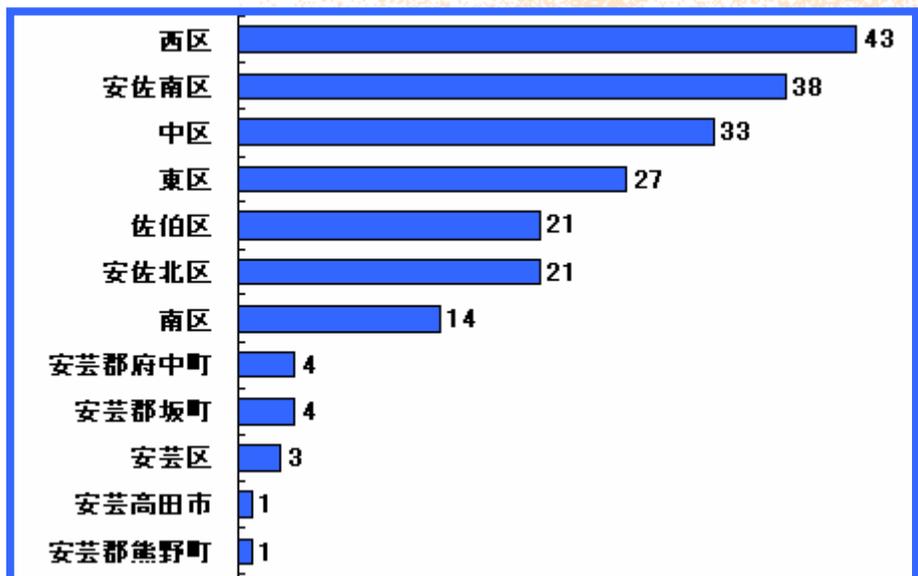


皮膚がん患者さんの来院経路 (どこから御紹介があったのでしょうか)

発見経緯 (がんが見つかったきっかけは?)



皮膚がん患者さんの 居住地域別（医療圏別）割合



平成24年11月

国立がん研究センターがん対策情報センターから
院内がん登録「施設別集計結果」が一般公開される
国立がん研究センター <http://ganjoho.jp>

「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 **2010**年全国集計報告」
2012年現在 388施設

WEB付表1-1-1 登録数:施設、部位別、総数

施設名	施設数
全体	48
国立病院機構 北海道がんセンター	
JA北海道厚生連 旭川厚生病院	
王子総合病院	
砂川市立病院	
市立釧路総合病院	
市立札幌病院	
JA北海道厚生連 帯広厚生病院	
北見赤十字病院	
市立函館病院	
日鋼記念病院	
函館厚生院 函館五稜郭病院	
札幌医科大学附属病院	
JA北海道厚生連札幌厚生病院	
北海道大学病院	
手稲溪仁会病院	
旭川医科大学病院	
市立旭川病院	
労働者健康福祉機構 釧路労災病院	
恵佑会札幌病院	

調査の背景と目的

平成19年4月よりがん対策基本法が施行され、その定める、がん診療の均てん化を推進するために、がん診療連携拠点病院が指定・拡充されてきた。

これらのがん診療連携拠点病院は都道府県および地域におけるがん診療の拠点となり、各種医療機関との有機的な連携を図る役割を持つ共に、院内がん登録の体制の整備を通じて施設の実態を把握し、さらに国レベルでのがん対策の進捗を評価するために、そのデータを国立がんセンターがん対策情報センターに提出することが指定要件として定められている。

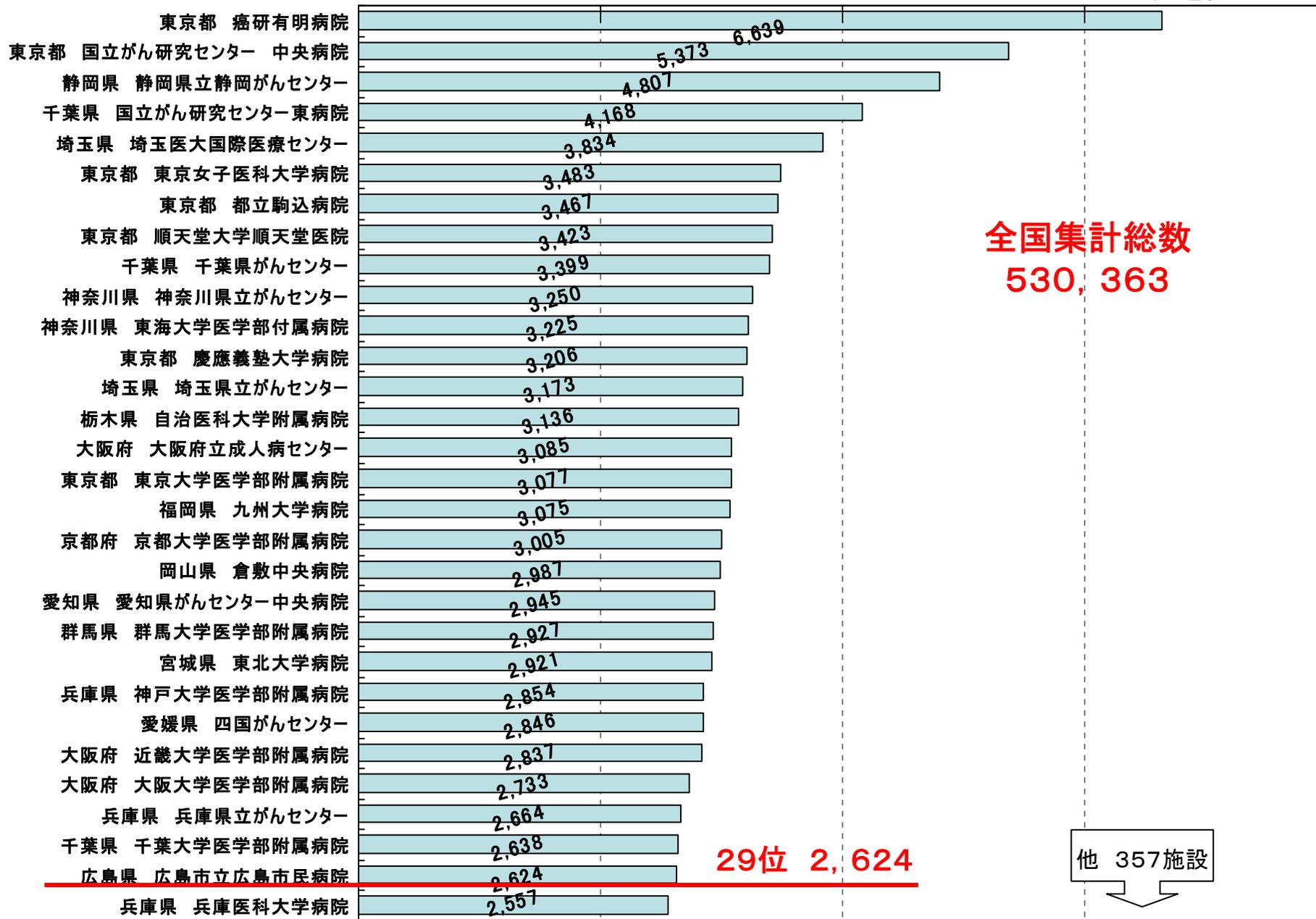
本調査の目的は、全国のがん診療連携拠点病院において実施されている院内がん登録のデータを集計することにより、

①各がん種、進行度、その治療の分布を把握し、国や都道府県のがん対策に役立てる

②各施設が全国と比較した自施設のがん診療状況を把握し、がん診療の方向性等を検討する

ための基礎資料を提供することにある。

全国がん診療連携拠点病院「院内がん登録」2010年集計結果(登録総数)387施設中上位30位 (セカンドオピニオン他を除く)



広島県がん診療連携拠点病院「院内がん登録」 2010年集計結果 (11医療機関別 皮膚がん登録数 409例)

